

ご入稿時のお願い(2)



～ オーサリング済みのデータご入稿について ～ (DVD-Rメディアでのご入稿について)

コスモテック株式会社

1. DDPマスターとは

- ・オーサリングソフトウェアの仕様によってはHD(ハードディスク)やDVD-RにDDPフォーマットにてデータを書き出す事が可能です。(Scinarist(PlantDirect)やAbobeEncore等)
DVD-RでのDDPマスター(以下、DDPマスター)とは、この様なソフトウェアを用いてにてDVD-Rへマスターデータを記録させたものと定義します。
- ・DDPマスターとは、上記の通り、従来のDLTに替わりDVD-Rメディアにリージョンコード(国識別コード)やコピープロテクトの情報を含めたDVD-VIDEOのマスターデータをDDPフォーマット(DDP2.0に準拠)で書き出したものです。

一般に、DVD-VIDEOのプレスにおいて、リージョンコードの指定や、CSS,APS*1などのコピーガード機能設定をする場合は、DLTまたはDDPマスターでのご入稿が必須となります。

*1:CSS(Content Scramble System)は、多くのDVD-Videoソフトで採用されているコンテンツ暗号化システム。APS(Analog Protection System)とは、VHS等で広く使用されているアナログのビデオ信号のコピー防止に用いられる技術。

2. DDPマスターでのご入稿時のご注意事項

- ・コピーガード等の機能を付ける際は、Sector Size2054byteでマスターの書き込みをお願いします。Sector Size2048byteの場合、プレス工場側でマスターが読み取ることが出来ませんのでご注意ください。
 - ・VolumeNameは大文字の32字までとしてください。
VolumeNameとはPC等で表示されるメディア(ディスク)の名前です。
 - ・DDPフォーマットで書き出されたデータを御支給頂くDVD-Rへ書き込む場合、書き込み速度は2~4倍速でお願い致します。それ以上の高速書き込みを行った場合、データの欠落等が発生しマスターデータが不完全なものになってしまう可能性があります。
詳しくはデータ書き込み時に御使用になるDVD-Rドライブ装置、DVD-Rメディアの仕様書等も併せてご参照ください。
- また、オーサリングされたオリジナルのデータとDVD-Rに書き込まれたマスターデータとの間に違いが無いことを必ずご確認ください。
- ・DVD9(片面2層)のマスターをプラントダイレクトDVD-Rでご入稿の場合は、各レイヤー毎、レイヤー0用(一層)とレイヤー1用(二層)をそれぞれ別のDVD-Rに書き込んで頂き、2枚のDVD-Rでのご入稿となります。(それぞれ、レイヤ名を明記ください。)

3. その他のご注意事項

プレスは、マスターに書き込まれた内容が忠実に複製されます。よって、コンテンツの不備や弊社にて判断できないデータに問題があった場合にでも、プレス後製品はマスターデータと同じ状態で製造されますので、ご注意下さい。
コンテンツ編集やオーサリング後の動作確認等のマスターデータの内容については、ご入稿前に十分に検証とご確認をお願い致します。

ご入稿マスターに起因する不具合につきましては、当社で一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

以上、御参考の上ご入稿をお願い致します。又不明な点などはご遠慮なく弊社までお問い合わせください。

【お電話】 03-3262-7951
【Web】 <http://www.cosmo-cdvd.com/>